

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくも幼児教室			公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	訪問先にある物を使い、訪問先でできる支援を考えたり、持参できる物は持参して共有したりしている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・困った時や迷った時には他職員に相談できるよう意識している。・担当職員が主となって行っており、「広く」ではない。	担当職員同士で話し合いができる機会を設けていきます		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	訪問支援についてのミーティングや研修はなかったが、会議での報告や必要に応じて職員間での相談は行っている。	訪問支援向けの研修を検討します		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	訪問支援に入る前に研修を受けることができた。			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	1	・訪問先の意見を聞きながら支援をしているが、支援計画作成のためにあえて意見を聞くことは行っていない。	必要に応じて改めて訪問先への聞き取りなどは随時行っていきます		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・基本的に訪問する職員は固定されているため、担当職員を中心に共有している。・ドライブ内で共有できるようにしている。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	4	・一人での訪問が主なため行っていない。・訪問先でその日の日課の確認を行ってから支援に入ることはある。	不安がある際は管理者や児発管に相談しながら行っていく		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・必要に応じて児発の職員とも様子を共有し、児発の支援にも活かせるようにしている。・報告書をチェックする機会があるため他職員がどのような支援をしているかの確認はできている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0					
関 係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0				

保 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・訪問先と就学についての共有を行うことはある。 ・必要なケースは行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2	・訪問支援に特化した研修への参加は少ない。 ・訪問支援についての研修や専門家からの助言の機会はなかった。	訪問支援に特化した研修を行政にも訴えかけていきます
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	・管理者もしくは相談支援員が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・児発で行っている。 ・面談を通して個別に伝えている。	
	保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	
28		訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・年度初めに文書で出している。	
29		保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
30		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
31		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
32		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	・父母の会等はない。 ・保護者同士の交流の機会は児発で行っている。 ・訪問支援のみの契約者に対しては交流する機会はなかった。	
33		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
34		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・訪問支援に関してのSNSの利用は難しさを感じる。 ・児発の方で行っている。	保育所等訪問については外部への発信等は行わず予定はない
35		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
36		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者に合わせてわかりやすい表現を使って報告書を作成している。	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・時間の取り方は訪問先の状況や体制によって変えている。 ・訪問先によって方法は違うが、訪問時間内に行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・保護者の緊急連絡先は聞いているが、訪問想定での訓練の難しさがある。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		保育所等訪問支援についても必要な時はヒヤリハットを記入する
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		